





● 社会環境工学科


	日時	8/4 2時限目	コード	412	橋のはなし 社会環境工学科を卒業すると仕事で橋とかかわる方が多くいます。社会インフラの代表でもあり、皆様の身近にあるこの橋の計画・設計・施工・維持管理に関する仕事内容を紹介します。
		8/5 2時限目		415	
	場所	152講義室			
講師名	准教授 谷口 望				


	日時	8/4 3時限目	コード	413	水の流れを考えよう 水路を流れる水の現象を観察しながら、「水の流れに関する不思議」について、一緒に考えましょう。
		8/5 3時限目		416	
	場所	実験棟1 2階 722			
講師名	准教授 梅津 剛				

● 建築学科


	日時	8/4 2時限目	コード	452	室内空気を清浄に保つアレルギー対策住宅とは？ 近年、シックハウス症候群や花粉症など、住宅の空気汚染に起因する健康問題が生じています。本講義では、室内空気汚染の問題とその対策について、実際に本学で行っているアレルギー対策住宅の研究事例を元に解説します。
	場所	151講義室			
	講師名	准教授 三田村 輝章			


	日時	8/4 3時限目	コード	453	建築物に要求される性能 建築物に要求される性能について、主に耐震設計をもとに紹介します。また、高校までに学んできた科目が建築にどう生かされるのか、さらには大学の講義や研究とどのように関わっているかについても解説します。
	場所	151講義室			
	講師名	准教授 北野 敦則			

	日時	8/5 2時限目	コード	455	建築史、前前前世から考える建築のしごと 建築学には建築史という分野があります。なぜ時空を超えて歴史を学ぶのか、歴史からの学びは今日の建築や都市にどう生かされるのかを一緒に考えたいと思います。
	場所	151講義室			
	講師名	講師 臼井 敬太郎			


	日時	8/5 3時限目	コード	456	建築家とは 建築家がどのように考えて建築作品をつくっているか、具体的な建築作品とその図面を資料に、社会や、そのまちの地域性、「住む」とはなにか？人間の身体やスケールなど、様々な着眼点から解説します。
	場所	151講義室			
	講師名	准教授 石黒 由紀			


● 生命情報学科


	日時	8/4 2時限目	コード	512	髪の毛のDNAを使ってアイドルとの血縁関係を探る DNAで犯人や親子の鑑定ができることは知られていますが、家系図を作成することもできます。現在では髪の毛などから採取したDNAを使って、かなり遠縁の親戚を見つけることができます。あなたとアイドルの血縁関係が分かるかも知れません。このように生命情報学でできることについて話をします。
		8/5 2時限目		515	
	場所	142講義室			
講師名	教授 本間 桂一				

	日時	8/4 3時限目	コード	513	コンピュータシミュレーションの基礎知識 さまざまな分野でコンピュータシミュレーションが使われています。本講義では、コンピュータシミュレーションを行うにあたって知っておくべき重要なコンピュータの特性を紹介します。
		8/5 3時限目		516	
	場所	142講義室			
講師名	准教授 関口 達也				


● システム生体工学科


	日時	8/4 2時限目	コード	552	AIに負けない脳をつくる 未来学者レイ・カーツワイルによれば、2045年にコンピュータは人の脳の知的能力を超えるとされています。現在の職業の約半分は人工知能(AI)の活用により消失すると予想されています。脳の情報処理の仕組みを知り、AIにできないことは何かについて考えてみよう。
	場所	131講義室			
	講師名	教授 今村 一之			

	日時	8/5 2時限目	コード	555	「共感」の脳の仕組み：ミラーニューロン・システム 人間のゲノム塩基配列は99.9%等しいことが分かっています。一方で、人類の歴史は争いの歴史でもあります。人がお互いに理解し合えるという脳の仕組みはどのようになっているのでしょうか？ジャコモ・リゾラッティ博士が発見したミラーニューロンの働きと共感について解説します。
	場所	131講義室			
	講師名	教授 今村 一之			

	日時	8/4 3時限目	コード	553	生き物に学ぶものづくり 生き物の動きはどのようなしくみによって生み出されるのでしょうか。長い進化を経て獲得した生き物のしくみを理解することは、新しい視点からのものづくりにつながります。講義では、生き物を知り、そしてセンサーやロボットとして利用するための取り組みについて解説します。
		8/5 3時限目		556	
	場所	131講義室			
講師名	准教授 安藤 規泰				

● 生物工学科

	日時	8/4 1時限目	コード	611	食品を作る微生物の作用 微生物といって、思いつくものは、病気を起こす病原微生物でしょうか？でも、それは、ほんの一部の微生物だけです。食品やお酒を造ることで、人間生活に貢献している微生物もあります。食品を造る微生物の作用について、みていきましょう。
		8/5 1時限目		614	
	場所	141講義室			
講師名	教授 尾形 智夫				

	日時	8/4 2時限目	コード	612	バイオテクノロジーと医療 バイオテクノロジーの発展によってタンパク質や細胞の生産が可能になり、医薬品として応用できるようになりました。更に、新たな特性をもつタンパク質や細胞を創出することも可能になってきました。医療におけるバイオテクノロジーの利用について、実例を挙げて解説します。
		8/5 2時限目		615	
	場所	141講義室			
講師名	教授 門屋 利彦				